

6月 諸事のお祝い

結婚記念日

長島正巳ご夫妻 1987年 6月20日

会員誕生日

吉田俊一会員 昭和10年 6月 1日

小林辰幸会員 昭和39年 6月 2日

野村 充会員 昭和26年 6月16日

池田 清会員 昭和12年 6月19日

高橋 修会員 昭和25年 6月29日

家田真人会員 昭和43年 6月30日

夫人誕生日

高橋 修夫人(多賀子様) 6月 5日

鈴木悦朗夫人(奈津子様) 6月23日

高崎卓哉夫人(千 恵様) 6月23日

児山守治夫人(ひとみ様) 6月29日



 ニコニコBOX

鈴木悦朗会長

私が会長年度の例会も最終月となりました。
又 家内の誕生日プレゼントありがとうございます。
今後ともよろしく願いいたします。

児山守治幹事

家内の誕生日プレゼントありがとうございます。
ここで一句

草餅の 色合い濃くて 美味増えし
注訳・・蓬のシーズン到来 匂の香りがブンブン
する 一句です。

池田 清会員

おかげ様で 75歳になりました。
これから 後期高齢者になります。健康に充分
注意して 永生きしたいと思います。

吉田俊一会員

誕生祝いありがとうございます。77才になりました。
少々ボケが入りましてゴルフでも同じコ
ースで前日40回、翌日50回 エイジーシュート
は夢の又夢・・・

野村 充会員

誕生日のお祝いありがとうございました。

長島正巳会員

結婚記念有難うございます。25周年(銀婚式)
これからも二人仲良く登山・スキーを楽しみ
たいと思っています。
本日はありがとうございました。

高崎卓哉会員

妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
ロータリークラブのおかげで忘れずにすみま
す。

小林辰幸会員

年男 48才になります。辰年の辰幸ですから
この一年 特に頑張ります。

2012年 6月家族移動例会のお知らせ

日時 6月19日(火) 点鐘 18:30 場所 ザ・クレストホテル柏

オークションの品物 3,000円くらいのものご用意下さい。よろしく願いいたします。



ロータリーの実践倫理

「最もよく奉仕するものは、最もよく報われる」 He profits most who serves best.

《会報・IT・雑誌
・広報委員会》

委員長：伊師 剛迪
委員：平田 洋一

副委員長：大川 隆永
委員：高崎 卓哉

財団BOX
4,740円

WEEKLY REP  RT

国際ロータリー第2790地区第12分区
松戸北ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 国際ロータリー・テーマ

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1・真実かどうか
 - 2・みんなに公平か
 - 3・好意と友情を深めるか
 - 4・みんなのためになるかどうか

第1920回 例会 (第 45 週) 2012年 6月 5日(火)

国際ロータリー会長カルヤン・パネルジー
第2790地区ガバナー 山田修平
第12分区ガバナー補佐 安井克一
松戸北ロータリークラブ会長 鈴木悦朗
松戸北ロータリークラブ幹事 児山守治

例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)
例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ポウル1F
事務所 - 松戸市根木内249-7 榊山安内
TEL/FAX - 047-344-5696 / 047-344-5696
Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

The Ideal of Service (奉仕の理想) にむけて夢を追いかけよう

 会長挨拶：鈴木悦朗

皆さん こんにちは。月日が経つのは早いもので、私の会長年度の最終月に入りました。

The Ideal of Service (奉仕の理想) に向けて夢を追いかけようというのが、私の会長年度の当クラブの方針であります。「奉仕の理想」とは「人のことを思いやり、人のためにつくすこと」ロータリーでいう Service とは人のためにつくすこと。「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながるものです。

6月はロータリー親睦活動月間です。ロータリーにとって親睦と奉仕は車の両輪であり、親睦とは感性的な親睦・ただ単に楽しむだけでなく、ロータリアン同士の深い信頼を築き、自分の足らざるところを他のロータリアンから学ぶ姿勢が大切であります。

先日、フェイスブックの「ロータリアン交流会」という全国でフェイスブックをされているロータリアンのグループサイトで2770地区諮問委員会で田中作治RI会長エレクトが一時帰国中で次のようなスピーチをされたことが流れてきました。

田中作治RI会長エレクト(八潮RC)のスピーチ

「ロータリーは思いやりと気配り。その時々と与えられた事をベストを尽くしてやる。寄付は金額が多いかどうかではなく、多くの人に参加することである。私たちはなぜロータリアンなのかを自覚認識して欲しい。」

「私はある日、推薦を受けて八潮ロータリークラブに入会しました。それから2年後、ある方が例会に来て、職業奉仕についてお話をしてくださったのです。私は、その日から少しずつ変わっていきました。収入や、売り上げを増やすことや、自分の会社をほかの会社よりも良くすることだけでなく、人として、職業人として、もっとよい、もっと高い目的を持って人生を送りたいと思うようになったのです。そしてそのために、ほかの人たちの役に立つことが、私にとって人生で最も大切だと思うようになりました。さらに私は、どんな些細なことでも、人を助けることがいずれは平和につながることに気づきました。

『平和』というのはよく耳にする言葉です。ニュースでも、日常会話でも良く聞きますし、ロータリーでも頻りに口にする言葉ですが、私たちは、『平和』とは何なのか、どういうことなのかを、あまり考えることはありません。一番簡単なのは、『平和』ではない状態がどのようなものを語ることでしょう。つまり、戦争や暴力を恐れることのない状態のことです。飢餓や、弾圧や、貧困を恐れることのない状態です。また逆に、『平和』を、それが何であるか、どういう可能性を秘めているのかで定義することもできます。

そういう意味では『平和』は、発言と選択の自由であり、自己決定の権利であると定義できます。安全で安心できる未来を意味し、安定した社会での人生と家庭を意味するとも言えます。そしてもっと抽象的に言うと、『平和』とは幸福感や心の平穏、静けさであるとも言えます。ですから、『平和』が何を意味しているのかは、人によって違うのです。どの定義が正しいとか、間違っているとかということではなく、自分にとって『平和』が意味すること、それがまさに平和なのです」と、平和について語りました。そして、「**ロータリアンは、自分よりも、ほかの人のニーズを重視します。自分のためだけでなく、社会全体のためを考えます。**『超我の奉仕』という言葉は、人生で本当に大切なこと、エネルギーを注ぐべきことは何なのかを、私たちに教えてくれる言葉です。そうすることで、より平和な世界の基盤を築くことができると考えます。そこで私は、2012 - 13年度のロータリーのテーマを、『**奉仕を通じて平和を**』といたしました。それは、『平和』をどのように定義するにしても、私たちは奉仕を通じて、平和をもっと現実にも近づけることができるからです。」と、2012 - 13年度のRIテーマを発表しました。

RI会長がお隣の八潮ロータリークラブで日本人、ネット社会ということもあり、おととい語った会長エレクトのロータリーへの思いが早く伝わるようになりました。

6月はロータリー親睦活動月間です。 6月19日は、柏のクレストホテルにて親睦移動例会が予定されております。まずは会員同士の親睦を深めたいと思います。

一方、**ロータリーが地域社会に認めってもらうためには内輪だけでなく地域の方々との親睦も大切**です。

6月23日(土)には新世代であるこどもたちに、自分たちの街を知り、郷土愛をもってもらう「**小金わくわく探検隊**」を開催いたします。私はこの実行委員会の代表を14年間つとめており、ロータリアン有志も参加しております。毎年、小金小学校から約120名の生徒さんたちが参加していますが、今年は小金小学校4・5・6年生の生徒さん全員200人以上が参加することになり、ロータリアンの旧家やお店をはじめ、地域の18ポイントを探検することになりました。午後1時に東漸寺か小金小学校で出発式を行います。たすきを用意いたしますので、出発式だけでもご参加をお願いいたします。出発式後40周年の記念誌に地域での奉仕活動として掲載する集合写真を撮りたいと思います。

第12回理事会議事録

6月5日(火) 17:30~18:30

1. 今月の予定について
2. 6月19日(火)家族移動例会について
3. 40周年記念事業の予算について
4. 6月23日(土)わくわく探検隊について

 幹事報告：児山守治

1. 例会変更のお知らせ
松戸ロータリークラブ
6月20日(日) 親睦旅行
静岡県伊豆「雲風々」
我孫子ロータリークラブ
6月26日(火) 姉妹クラブ周年記念
式典訪問に変更
2. 5/22会報の3ページ訂正
非難地域 避難地域

結婚記念日の花束



(長島会長エレクト)



(児山幹事 鈴木会長)



(池田会員)



(吉田会員)



(野村会員)



(高崎会員)



(小林辰幸会員)



(ピアノ演奏)

誕生日祝いのプレゼント



ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。